

国立西洋美術館は 311 星空プロジェクトに賛同します。

太陽系を周回している小惑星の一つに「国西美」という名前がつきました。
(詳細は以下のとおりです。)

国際天文学連合 (I A U) 第 20 委 員会、小惑星センターの 2011 年 12 月 10 日 発行「小惑星回報」 (Minor Planet Circular) において、日本の国立西洋美術館の略称「国西美」が小惑星に命名されたことが報じられました。

この小惑星は、1989 年 11 月 30 日 に札幌市在住の渡辺和郎氏と釧路市在住の松山正則氏との共同作業で発見され、その後、軌道が確定したため、1999 年 10 月 26 日付「小惑星回報」で“登録番号 11873”が付与されました。これまで固有名は保留状態でしたが、今回、「国西美 (Kokuseibi) 」として申請し (固有名 16 文字以内という規則があるため、「国立西洋美術館」を簡略化) 、確定したものです。

この小惑星は、やや潰れた楕円軌道で太陽の周囲をおよそ 3.39 年かけて一周しています。その大きさは、直径約 8km と推定されています。

これを受けて、国立西洋美術館としては、「311 星空プロジェクト」に賛同し、来館者の方々が帰宅されご自宅で 3 / 1 1 当日に震災のあった 14 : 46 の 6 時間後の 20 : 46 から 1 時間消灯し、この「311 星空プロジェクト」に参加しましょうと呼びかけ (この掲示) を行っています。

震災時の現地では、明りがなくなりその時と同様な状況にすることで、忘れられない日 (思い出す日) とする運動として地上を暗くして、観望してみましよう。

残念ながら、呼びかけの日時だとどうやら「国西美 (Kokuseibi) 」は日本から見えない位置にあるそうです。

地球上からは小さいので肉眼では見にくいかもしれませんが、この星空のどこかにきつとあるものと思いを馳せてみるのもいいかもしれません。

国立西洋美術館長 青柳正規